

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 28 年 1 月 25 日

協議会名: いすみ市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
小湊鉄道(株) いすみ循環-1	市役所大原庁舎～長者町駅～いすみ医療センター～市役所大原庁舎	平成27年3月に行われた鉄道のダイヤ改正の状況に合わせた運行時刻の見直しを10月より行うため準備を行い、地域の小・中・高等学校と連携を図り、利用促進に向けた継続的な啓発を実施しつつ利用実績等を鑑み事業の適正化に努めた。	A	<p>平成27年度の補助対象期間(平成26年10月から平成27年9月)中の利用者目標60,000人のところ、実績は57,980人であった。</p> <p>一部の系統(大原巡回東線、大原線、東海線)については、対前年比で利用者が若干増加(対前年比: 大原巡回東線106.2%、大原線107.2%、東海線188.7%)しているものの残りの系統については、減少傾向にある。</p> <p>理由として考えられるのは、少子化により対象となる沿線の児童・生徒の減少及びの高齢の利用者がコミュニティバスからデマンド交通への移行したことによる減少が大きな要因と考える。</p> <p>しかしながら全体的には、対前年比で若干の減とはなるが95.9%の利用が見られるなど市全体での路線バスが移動手段としての位置付が確保されている。</p>	<p>利用実態を注視し、運行時刻の見直しに配慮しつつ、今後も利用促進に向けた継続的な啓発を実施する。</p> <p>平成27年10月1日より運休</p> <p>利用実態を注視し、運行時刻の見直しに配慮しつつ、今後も利用促進に向けた継続的な啓発を実施する。</p> <p>平成27年10月1日より運休</p>
小湊鉄道(株) いすみ循環-2	長者町駅～いすみ医療センター～市役所大原庁舎		A		
小湊鉄道(株) いすみ循環-3	長者町駅～市役所夷隅庁舎前～市役所大原庁舎		A		
小湊鉄道(株) いすみ循環-4	国吉駅入口～太東駅～長者町駅		A		
小湊鉄道(株) いすみ循環-5	市役所大原庁舎～長者町駅～市役所夷隅庁舎前		A		
小湊鉄道(株) いすみ循環-6	市役所夷隅庁舎前～下布施～市役所大原庁舎		A		
株HMC東京 大原巡回東線	清水尻橋～山田新町～市役所大原庁舎		A		
株HMC東京 大原巡回浪花線-1	市役所大原庁舎～自動車教習所入口～市役所大原庁舎		A		
株HMC東京 大原巡回浪花線-2	浪花駅～自動車教習所入口～市役所大原庁舎		A		
株HMC東京 大原巡回大原線	市役所大原庁舎～造式公会堂～大井区民会館～市役所大原庁舎		A		
株HMC東京 大原巡回東海線	市役所大原庁舎～玉前神社～三門駅～市役所大原庁舎		A		
株HMC東京 大原巡回大原・国吉線	いすみ医療センター～岸～市役所大原庁舎		A		
株HMC東京 大原巡回布施線	市役所大原庁舎～上総東駅～下布施～市役所大原庁舎	A			

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成28年1月25日

協議会名:	いすみ地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>合併以降、バス交通に関しては、交通空白地帯の解消と交通弱者対策に対応するため、利便性の向上を図りながら運行を継続してきているところであるが、運行には多額の経費を要しており、路線の維持存続は課題となっている。</p> <p>今年度、利用状況及び経常収支率等を参考に10系統の運休を行ったところであるが、今後も市民が将来にわたって安心して暮らせる生活環境の確立と、地域経済力の向上に資することを目的に、地域公共交通確保維持改善事業を活用することにより、行政負担を軽減し継続的なバス運行の維持・確保を図る。</p>